

ひと・いえ・まち リエゾンプロジェクト～地域福祉における空家の活用～/福岡県福岡市

社会福祉協議会の地域密着型ネットワークを用いて空家情報を入手し、専門的諸課題を整理 解決

- 古家空家調査連絡会が持つ、住まいの問題解決の専門家ネットワークを活用し、法務財務・建築不動産面から活用に繋ぐ。
- 地域住民や福祉施設等による空家活用会議を設置し、地域社会貢献活動の拠点ニーズ調査、地域福祉を促進。
- 空家を提供する側と空家を活用したい側の両者に対して、専属のコーディネーターが対象物件をマッチング。

事業概要

代表提案者：一般社団法人
古家空家調査連絡会
社会福祉法人
福岡市社会福祉協議会

総事業費：0.44億円(国費：0.29億円)
補助事業：○技術の検証

- ・法務財務や建築面などの空家を取り巻く諸問題を整理解決
- ・全住民対象
高齢者や要支援者の地域生活の実現を目指す地域包括ケアシステム

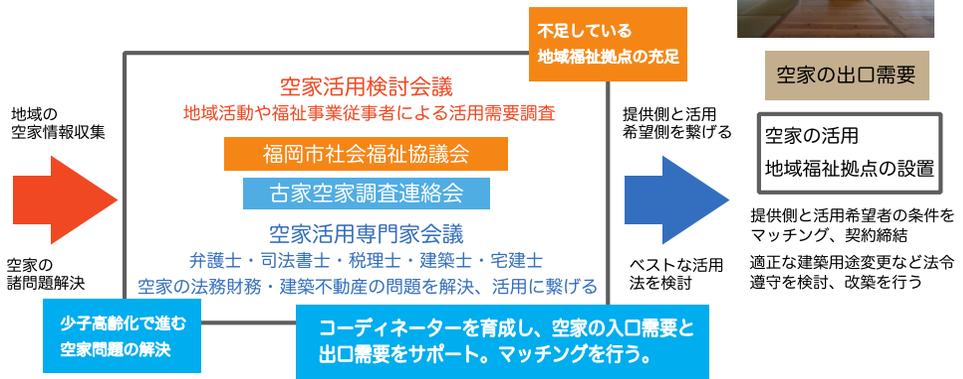


空家の入口需要

空家の活用希望
空家の提供情報

高齢者・要支援者からの住まいと暮らしの相談
建物や不動産に顕在・潜在する問題解決相談

古家空家調査連絡会・福岡市社会福祉協議会共同事業体事業スキーム



空家の出口需要

空家の活用
地域福祉拠点の設置

提供側と活用希望者の条件をマッチング、契約締結
適正な建築用途変更など法令遵守を検討、改築を行う

地域の空家を地域福祉に転用した事例

なかしまホーム



福岡市東区社会福祉協議会に遺贈された、福岡市東区香椎にある築45年の木造2階建て空家。
敷地面積199.84㎡/建築面積85.29㎡/延べ面積120.87㎡/確認済証無・完了検査未受検

改築前



建物の構造・耐久性を検査するためインスペクションを実施

改築中



監察指導課による指導のもと、建築用途変更工事と改修工事を行う

改築後



活用側の要望を聞き取り、必要な部分だけを改修。負担に応じた家賃を設定。



空家活用専門家会議及び空家活用検討会議での活用検討



近隣住民や入居者と漆喰WSを実施

平成30年10月
障がい者向けのシェアハウスに

